

カリキュラム・ポリシー

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成  
 将来、学校において指導的役割を担うことのできる深い学識、卓越した「省察する力」「コミュニケーション力」などの能力、及び責任感と倫理観をもった高度専門職業人としての教師を育成するため、系統的・横断的で、授業科目相互の有機的連関を図るカリキュラムを、以下のように編成する。  
 ①教師の専門業務に必要な学術的知見や実践的知見を体系的に学ぶことのできる5領域から成る「共通科目」を編成する。  
 ②附属学校園及び学外の学校や関係機関との連携のもと、地域における特色ある教育活動や経営活動、連携の実際について学ぶとともに、自校や実習校において探究課題に係る実践や検証を進めることのできる「実習科目」を編成する。  
 ③「共通科目」「実習科目」「選択科目」における学びを省察しつつ統合し、自己の課題や学校・地域の教育課題、現代的な教育課題等に係る解決の方策を探究することをねらいとする「省察科目」を編成する。  
 ④個々の学生の問題意識や関心に沿って課題探究を進めることができるよう、3つの履修プログラム（「教科教育（教授—学習）研究プログラム」「学校研究プログラム」「特別支援教育プログラム」）ごとに体系化した「選択科目」を編成する。
2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施  
 ディプロマ・ポリシーに掲げる能力育成という理念のもと、各科目で教育・学修目標を明確に定め、これらの目標を達成するための最適な教育方法を工夫、考案し、実践する。
3. 厳格な成績評価の実現  
 各科目で明確に定めた教育・学修目標、教育方法と一体化した評価基準を作成し、適正な成績の評価を行う。

ディプロマ・ポリシー

- 1) 学校教員に求められる職務を責任感と倫理観をもった的確に実践できる能力
- 2) 学校の教育課題に対し、学校の一員として協働して取り組み対応できる能力
- 3) 自らの実践を理論に基づいて省察できる能力
- 4) アクティブ・ラーニングの視点から授業改善やカリキュラム・マネジメントを考えることができる能力
- 5) 学校教育に係る課題を設定し、解決のための方策を探究できる能力

カリキュラム・マップ

